

技術系人材育成・供給に関するアンケート結果の分析

1 調査概要

- ・アンケート期間は、平成27年8月19日から8月31日までとした。
- ・県内の機械電子産業を中心とした300社に対し、アンケート形式で調査を行い、有効回収率は43%（129社/300社）であった。

2 各職種に求められる人材について

- ・次の四職種に分類し、どんな人材を求めているかを調査したところ、どの職種においても、「責任感や向上心などの優れた人材」や「仕事に対する意欲や積極性がある人材」への期待が高く、さらに各職種に求められる人材は次のとおりであった。

研究者・製造技術者（開発）

研究もしくは製品の開発・設計、技術の開発などを行う技術系人材と定義したところ、一定の修練や熟練が必要となる技術を身に付けた人材や、設計技術や開発技術を身に付けた人材である「ものづくりの高度な技術をもつ人材」、課題解決力や応用力が高く、さらに研究・開発につながる専門的知識を身に付けた「ものづくりの高度な知識をもつ人材」への期待が高く、これを担うイメージは大学院卒業者や大学卒業者であった。

製造技術者（開発を除く）

生産性の検討・生産準備・設備計画などの工程設計及び工程管理・品質管理、監督、指導並びに発送電など電気に係る機器又は施設の工事・維持・管理などを行う技術系人材と定義したところ、与えられた業務を的確に実行する技術を身に付け、不測の事態にも対応が可能な人材である「ものづくりの即戦力となる技術をもった人材」や「ものづくりの基本的な技術を持つ人材」への期待が高く、これを担うイメージは高校卒業者、産短大卒業者、高専卒業者、大学卒業者まで幅広い結果であった。

このため、さらに企業への聞き取りを行ったところ、製造技術者（開発を除く）は、管理を担う人材と設計を担う人材に分かれることがわかった。そのうち管理を担う人材については産短大卒業者を評価する声が多く、一方、設計を担う人材については現在の本県の育成機関（高校・産短大）では不十分であるとの声が多かった。

生産工程従事者

生産設備の制御・監視の仕事、機械・器具・手動具などを用いて原料・材料を加工する仕事、各種の機械器具を組立・調整・修理・検査する仕事等、生産工程に従事する技術系人材と定義したところ、与えられた業務を的確に実行する技術を身に付けたうえで、できれば不測の事態にも対応が可能な人材である「ものづくりの基本的な技術をもつ人材」への期待が高く、これを担うイメージは産短大卒業者や高校卒業者であった。

営業（セールス・サポートエンジニア）

セールス、サポートエンジニアに従事する技術系人材と定義したところ、コミュニケーション等に優れた人材への期待が高く、これを担うイメージとしては大学卒業者となった。